

最初にお読み下さい

---

# リリースノート

## CentreNET™ AT-TCP/32 Light Ver. 1.1

---

文書番号 : light.v110.relnote ver 1.0 Feb.1997

この度はCentreNET AT-TCP/32 Light Ver 1.1 をお買い上げいただきましてありがとうございました。この冊子は、インストール方法について説明されています。

インストールする前に必ずお読みください。

## 目次

1. 本製品に添付されている情報について .....	3
2. 概要 .....	4
3. インストールについて .....	5
3.1 インストールに必要なもの .....	5
3.2 hosts ファイル .....	10
3.3 TCP/IPの動作確認 .....	12
3.4 インストールの実行 .....	13
AT-TCP/32 Light のインストールについて .....	13
Version Up の場合 .....	23
AT-PRINT95 のインストールについて .....	24
AT-PRINT95 を使用するための TCP/IP の設定 .....	29
AT-PRINT95 ご使用上の注意 .....	36
4. アンインストール .....	37
4.1 AT-TCP/32 のアンインストール .....	37
4.2 AT-PRINT95 のアンインストール .....	40
5. 「PGP 国際版 2.6.3i」について .....	43
PGP のバージョン .....	43
PGP の注意事項 .....	43
「PGP 国際版 2.6.3i」のダウンロードについて .....	44
「PGP 国際版 2.6.3i」のインストール .....	44
PGP とは .....	44
暗号化と複合化 .....	45
公開鍵方式 .....	46
公開鍵と秘密鍵の作成 .....	46
6. ユーザーサポート .....	47
調査依頼書のご記入にあたって .....	48
使用しているハードとソフトについて .....	48
お問い合わせ内容について .....	49
ネットワーク構成について .....	49
ご注意 .....	52
商標について .....	52

## 1. 本製品に添付されている情報について

### CentreNET AT-TCP32 Light グループ「お読みください」

リリースノートやマニュアルに記載されていない補足的な情報や(特定のアプリケーション、パソコン機種における障害の回避の方法)が記述されています。必ずお読みください。

### リリースノート

この冊子です。AT-TCP/32 Light の概要やインストール方法について書かれています。必ずインストールする前にお読みください。

### User's Manual

AT-TCP/32 Light の使い方について説明しています。供給メディアの以下のディレクトリに収められています。

¥DOC

コマンド別にファイルが分かれています。お読みになるときは、Windows95/WindowsNT 4.0 をご使用の場合は エクスプローラーで、WindowsNT 3.51をご使用の場合はファイルマネージャで開きたいファイルをダブルクリックしてください。または、メモ帳(notepad.exe)でファイルを開いてください。インストールの詳細は本冊子の「マニュアルのインストール」をお読みください。

## 2. 概要

この度は、CentreNET AT-TCP/32 Lightをお買い上げ頂きまして誠にありがとうございます。AT-TCP/32 Light は、Windows95/NT 対応の TCP/IP による通信の機能をパソコンに付加するためのパッケージソフトウェアです。AT-TCP/32 Light を使用することにより UNIX ワークステーション、パソコンが共存するネットワークを構成したり、インターネットへ接続することができます。また、LPD サーバがネットワークに解放しているプリンタを仮想プリンタとして使用することができます。

### 特徴

- ・ 仮想端末機能
- ・ ファイルの転送
- ・ 簡易ファイル転送
- ・ 電子メールの送受信
- ・ ロングファイルネーム、アンイストーラ機能
- ・ Ethernet をサポート
- ・ ダイアルアップ IP 接続
- ・ リモートプリンタ機能(lpr, lpd)
- ・ プリンタリダイレクタ機能  
(この機能は WindowsNT ではご利用できません。)

### 3. インストールについて

この章では、AT-TCP/32 Light パッケージのインストールについて説明します。インストールは Windows95 上からでも WindowsNT 上からでも可能です。LAN において、AT-TCP/32 Light をパソコンにインストールし、リモートホスト (UNIXワークステーション) と通信ができるようになるまでの作業の概要は以下の通りです。

#### 3.1 インストールに必要なもの

インストールする前に以下の項目について確認してください。

1. 対応パソコン  
NEC PC98 シリーズ  
OADG 仕様パソコン(DOS/V)
2. 対応 OS  
Windows95  
WindowsNT 3.51/WindowsNT 4.0
3. パソコンの資源  
メインメモリ  

Windows95	12MB 以上
WindowsNT 3.51	16MB 以上

  
ハードディスク  
15MB 以上  
  
CPU  
486 SX 以上  
  
その他  
CD-ROM ドライブ (インストール時)

#### 4. 情報の収集

これからインストールしようとしているパソコンのホスト名、IP アドレスなどを決定したり、インストールに必要な情報を収集します。お客様がシステムを使用するだけのユーザであるなら、システム管理者に相談してください。お客様がシステム管理者という立場の方なら、他のユーザの相談にのってあげてください。

#### 5. リモートホストでの設定

(UNIX ワークステーションでの設定)

パソコンからリモートホスト (UNIXワークステーション) を使用するための設定を、リモートホストに施してください。リモートホストの設定は、システム管理者に施してもらいます。

##### ユーザ名

リモートホストにログインするとき使用する名前です。リモートホストはユーザ名でお客様 (ユーザ) を識別します。ユーザ名がリモートホストに登録されていない場合、お客様はそのリモートホストを使用することができません。BSD 系 UNIX の場合、ユーザ名は /etc/passwd ファイルに登録します。

##### パスワード

リモートホストを使用するとき (ログインするとき) に必要な合言葉です。リモートホストにおけるお客様のプライバシーを守るためにも、必ず設定してください。また、パスワードが設定されていない場合、使用できないコマンドもあります (wvtn.exe など)。

##### ホームディレクトリ

ホームディレクトリは、リモートホストにおけるお客様の作業環境です。通常は、ディレクトリ /home 下のお客様のユーザ名と同じディレクトリ名を作成します。下記に、例を示します。

```
/home/emi
```

パソコンのホスト名、IP アドレス

AT-TCP/32 Light をインストールしようとしているパソコンのホスト名、IP アドレスを決定し、リモートホストに登録してください。例えば、BSD 系 UNIX の場合、これらの情報は /etc/hosts ファイルに登録します。これが設定されていない場合、AT-TCP/32 Light アプリケーションの多くのコマンドが使用できません。

6. CentreNET AT-TCP/32 Light  
供給メディア (CD-ROM)  
リリースノート (この冊子)

## 7. TCP/IP の設定

Windows95 おけるデフォルトプロトコルスタックは NetBEUI です。Windows95 上で TCP/IP を使用する場合は Windows95 に以下の情報を設定しなければなりません。

- ・パソコンの IP アドレス
- ・サブネットマスク
- ・ゲートウェイの IP アドレス
- ・DNS サーバを使用するかどうか、使用するならそのサーバの IP アドレス

ここでは、Windows95 の TCP/IP の設定方法を説明します。ただし、各マシンの Windows95 の環境によっては必ずしもこの順番通りにならない場合があります。ここでは、Windows95 が既にインストールされていて、Microsoft Network が正常に動作しているコンピュータを前提として説明します。また、設定をしているときに、Windows95 の Disk を求めてくる場合もありますので、その場合は画面の指示に従ってください。また Windows95 のヘルプやマニュアルを参照してください。<sup>†1</sup>

---

†1 以下の文献に詳しい設定手順が記載されています。

アスキー出版局

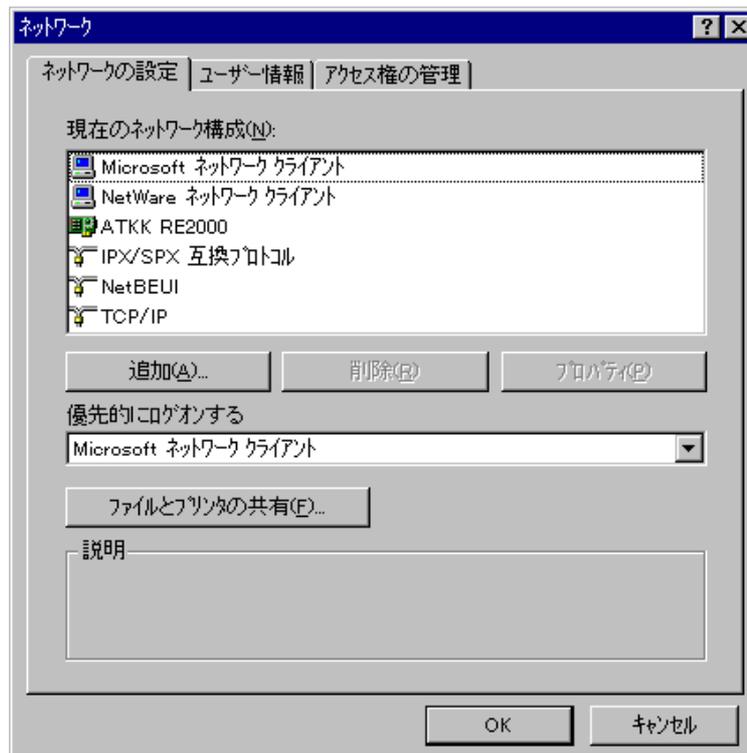
Microsoft Windows95 リソースキット Vol.1

Microsoft Corporation 著 / マイクロソフト株式会社 監修 / アスキーテクライト訳

第 12 章 ネットワークに関する技術的な解説

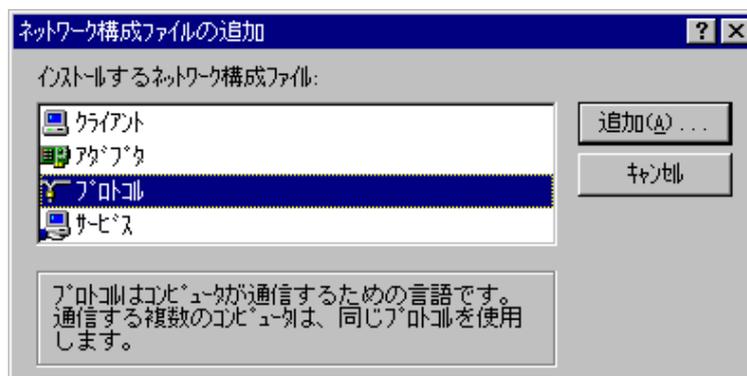
12.5 TCP/IP プロトコル

1. Windows95 を起動し、「マイコンピュータ」 - 「コントロールパネル」 - 「ネットワーク」をダブルクリックすると「ネットワーク」ダイアログが表示されます。

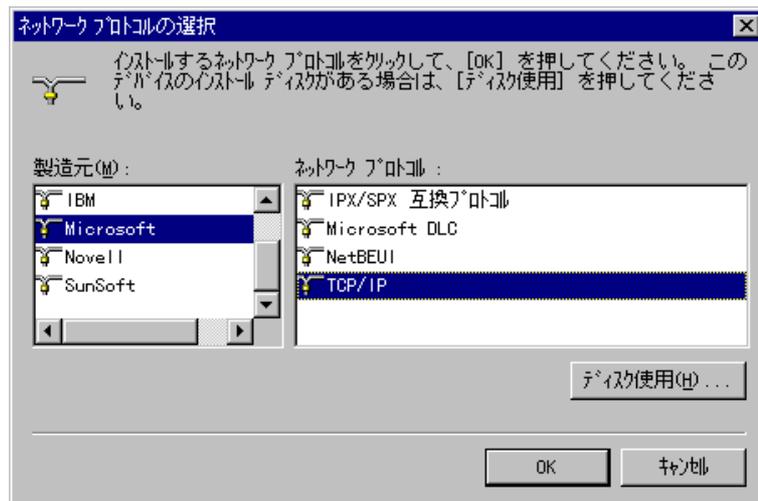


「ネットワークの設定」タブをクリックします。「現在のネットワーク構成」一覧に「TCP/IP」が表示されているか、確認します。表示されていない場合は以下の手順でインストールを行います。

2. 「ネットワークの設定」ページの「追加」ボタンをクリックします。「ネットワーク構成ファイルの追加」ダイアログが表示されます。



3. ダイアログ中の「インストールするネットワーク構成ファイル」一覧から「プロトコル」を選択し、「追加」ボタンをクリックします。
4. 「ネットワークプロトコルの選択」ダイアログが表示されます。「製造元」は Microsoft、「ネットワークプロトコル」は TCP/IP を選択し、「OK」ボタンをクリックします。



6. 「ネットワーク」ダイアログに戻ります。「現在のネットワークの構成」の中から「TCP/IP」を選択します。
7. 「TCP/IPのプロパティ」ダイアログが表示されます。ここでは以下の項目について設定します。

#### IP アドレス<sup>†2</sup>

このパソコンの IP アドレスを自動的に取得するか、自分で指定するか選びます。

自動的に取得するには DHCP サーバがネットワーク上に動作していることが前提になります。

IP アドレスを指定する場合はこのマシンの IP アドレスとサブネットマスクをネットワーク管理者に確認してください。

#### WINS 設定

WINS は WindowsNT のネットワークで使用される プロトコルです。WINS の解決をする場合、WindowsNT の WINS Server が必要です。また、解決するのに DHCP を使用することも出来ます。

---

<sup>†2</sup> IP アドレスは一意に決めるものですので、ユーザは勝手に IP アドレスをふらないでください。

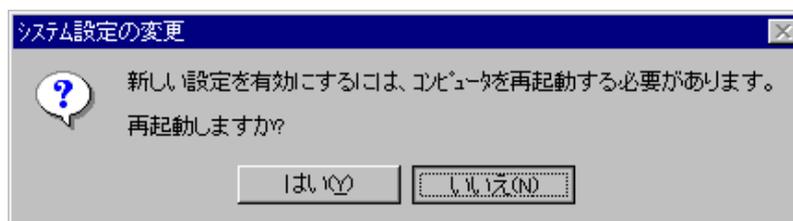
## ゲートウェイ

ゲートウェイとは通常そのネットワークのルータを指します。ルータを越える通信を行いたい場合にはルータのアドレスを IP アドレスで指定し、追加してください。

## DNS 設定

ドメインネームサービスの指定を行う。使用しない場合は hosts ファイルが使用されます。使用するには DNS サーバの IP アドレスを指定し、このマシンのホスト名とドメイン名を設定します。

8. インストールが終了すると「新しい設定を有効にするには、コンピュータを再起動する必要があります。」というメッセージが表示されます。全てをインストールしてからリブートします。「いいえ」ボタンをクリックします。



## 3.2 hosts ファイル

hosts ファイルはネットワークに存在するホストの IP アドレスとホスト名の対応をリストにしたものです。AT-TCP コマンドはコマンド行にホスト名が現れると、DNS を利用できない場合は hosts ファイルを参照して、そのホスト名に対応する IP アドレスを得ます。hosts は以下の書式となっており、これは BSD 系 UNIX のものと同じ形式です。IP アドレス、ホスト名、ホストの別名は空白文字（タブ、スペース）で区切り、「#」から右はコメントとみなされます。

hosts は WindowsNT の場合は WindowsNT がインストールされているディレクトリの「¥system32¥drivers¥etc」に、Windows95 の場合は Windows95 がインストールされているディレクトリの下にあります。このファイルに必要なネットワークに存在するホストの IP アドレスとホスト名を入力してください。

書式

www.xxx.yyy.zzz    **ホスト名**    **ホストの別名**

< 例 >

```
#
#           sample hosts file
#
192.87.64.1      jaws      jaws.allied-telesis.co.jp
192.87.64.2      freddy    freddy.allied-telesis.co.jp
192.87.64.3      godzira   godzira.allied-telesis.co.jp
#
#   11-15      :GW
#
192.87.64.25     soumu-gw  soumu-gw.allied-telesis.co.jp
#
#   101-150    :GW
#
192.87.64.101   imagine   freddy.allied-telesis.co.jp
192.87.64.102   pretty    godzira.allied-telesis.co.jp
192.87.64.103   ropple    freddy.allied-telesis.co.jp
192.87.64.104   peach     godzira.allied-telesis.co.jp
192.87.64.105   green     freddy.allied-telesis.co.jp
192.87.64.106   apple     godzira.allied-telesis.co.jp
.....
.....
```

### 3.3 TCP/IPの動作確認

AT-TCP/32 Light のアプリケーションを使用するためには、Windows95 の TCP/IP が正しく動作していなければなりません。TCP/IP の動作は、Windows95 に含まれている ping コマンドによって確認できます。

1. 「スタート」 「プログラム」 「MS-DOSプロンプト」を実行してください。
2. MS-DOS プロンプトウィンドウで ping を実行します。ping の後には、引数としてホスト名または IP アドレスを指定してください。

<書式>

`ping hostname`

`ping IP-address`

<コマンド例>

`C:¥>ping kiwi.abcdefg.co.jp`

`C:¥>ping 150.87.24.1`

3. 下の例のように、リモートホストからの応答時間が表示されれば正しく動作しています。下の例のように表示されず、エラーメッセージが表示される場合は、Windows95 の TCP/IP 設定が間違っている可能性があります。Windows95 のマニュアルをご覧になり、設定を確認してください。

<pingの正しい表示例>

```
Pinging hostname.domain_name [128.13.14.15] with 32 bytes of data:
```

```
Reply from 150.87.21.8: bytes=32 time=2ms TTL=254
```

```
Reply from 150.87.21.8: bytes=32 time=2ms TTL=254
```

```
Reply from 150.87.21.8: bytes=32 time=1ms TTL=254
```

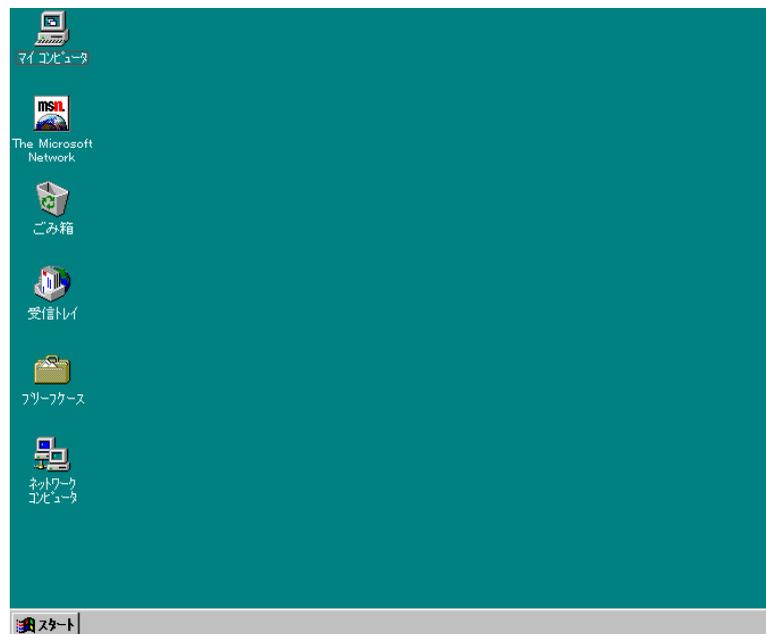
```
Reply from 150.87.21.8: bytes=32 time=2ms TTL=254
```

### 3.4 インストールの実行

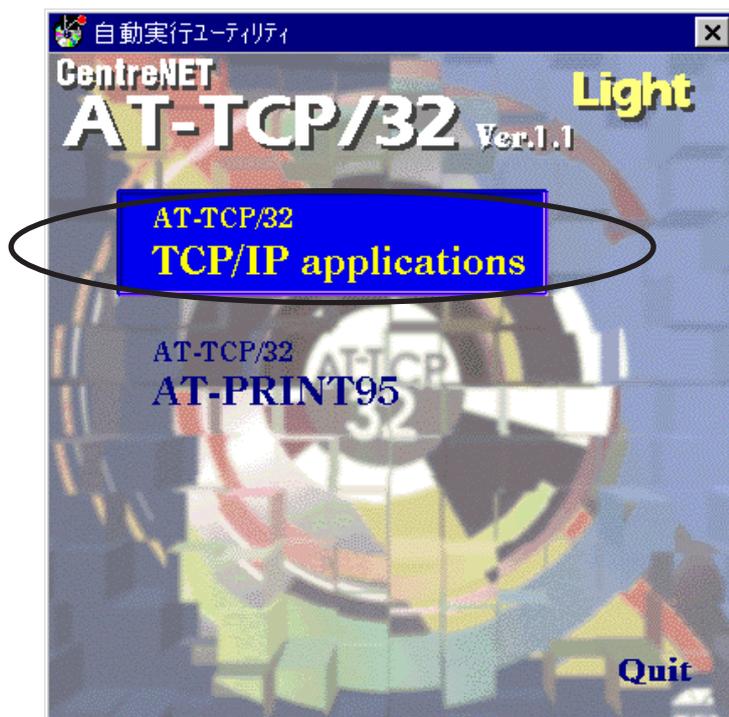
#### AT-TCP/32 Light のインストールについて

この節では、AT-TCP/32 Lightのインストール手順を説明します。ここでは、インストール対象のパソコンとして DOS/V、起動ドライブを C:、CD ドライブを D:、フロッピードライブを A: と仮定し、Windows95 上でインストールすると仮定して説明します。PC98 シリーズの場合は、C: を A:、A: を B: に読みかえてください。

1. 周辺機器やパソコン本体の電源を入れてください。Windows 95 が起動されます。



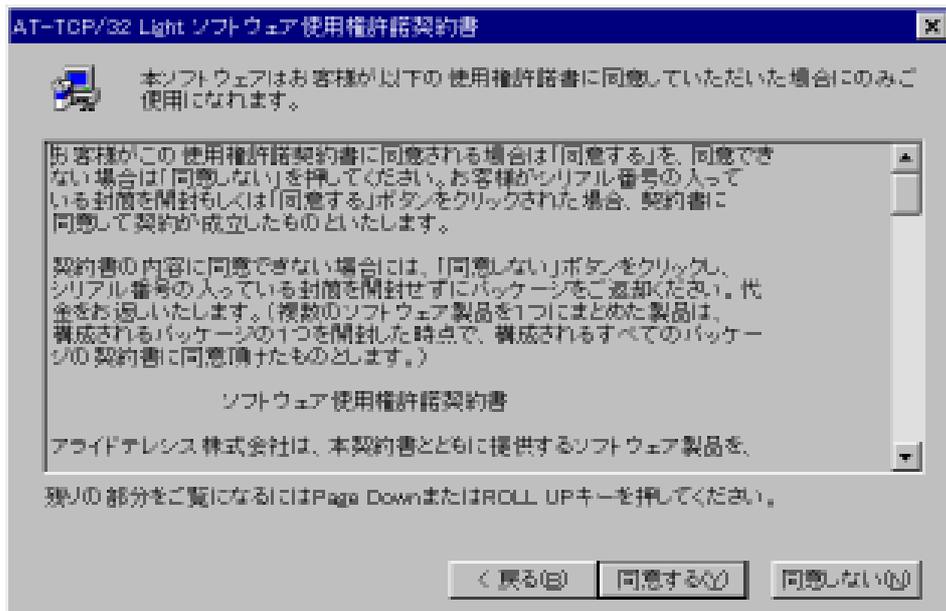
- CentreNET AT-TCP/32 Light の供給メディアの CD-ROM を CD ドライブに入れてください。カレントドライブを「D:」、インストール先ドライブを「C:」と仮定します。  
以下の「自動実行ユーティリティ」ダイアログが表示されます。  
「AT-TCP/32 TCP/IP applications」ボタンをクリックします。



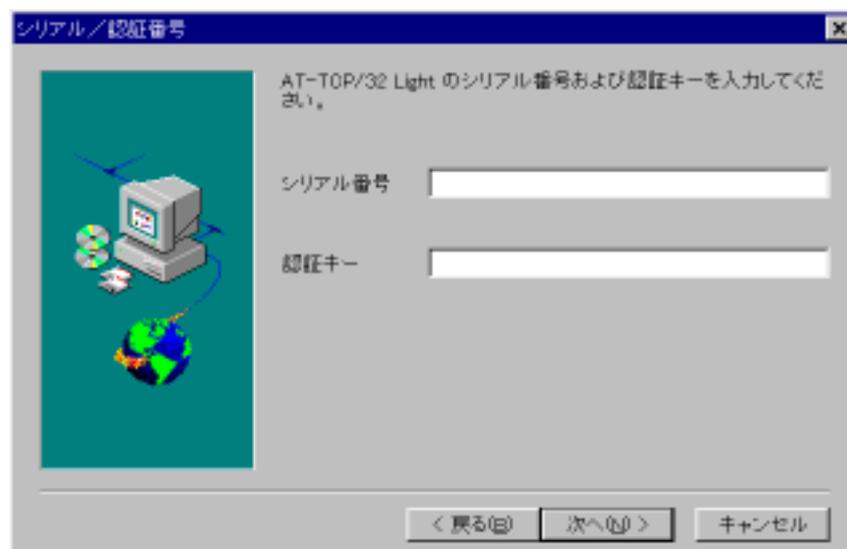
- インストールを開始する画面が表示されます。「次へ>」ボタンをクリックします。TCP/IP の設定を行っていないと警告メッセージが表示されます。必ず TCP/IP の設定を行ってからインストールしてください。



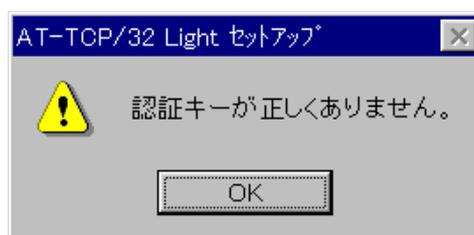
4. 「AT-TCP/32 Light ソフトウェア使用権許諾契約書」ダイアログが表示されます。よくお読みになって同意するのなら「同意する」ボタンをクリックします。同意しないのなら「同意しない」ボタンをクリックしますが、その場合はセットアップは中止となります。



5. 「シリアル/認証番号」ダイアログが表示されます。シリアル番号と認証キーを入力して、「次へ>」ボタンをクリックします。シリアル番号と認証キーは AT-TCP/32 Light パッケージの中にシールとして添付されている「1234-5678-9012」のような番号です。認証シールとシリアル番号は対になっており、シリアル番号が正しいことを証明する「鍵」です。認証番号もシリアル番号と同様の形式となっており、シリアル番号のシールに併記されています。



誤ったシリアル番号や認証キーを入力した場合は以下のエラーメッセージが表示されます。以下のエラーメッセージが表示された場合は、もう一度正しいシリアル番号や認証キーを入力してください。



6. セットアップするタイプを選択します。AT-TCP/32 の TCP/IP アプリケーション全てをインストールする場合は「フルインストール」ボタンを、必要なアプリケーションだけをインストールする場合は「カスタムインストール」ボタンをクリックしてください。



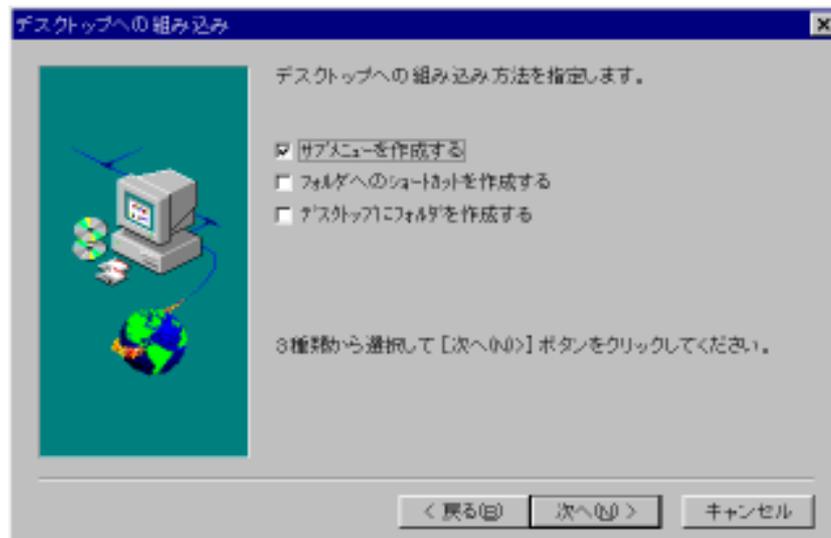
7. 「カスタムインストール」ボタンをクリックした場合は、以下のダイアログが表示されます。TCP/IP アプリケーションの一覧から必要なアプリケーションを選択します。選択したアプリケーションは、インストール先ディレクトリに表示されているディレクトリにインストールされますが、このディレクトリでよければ「次へ>」ボタンをクリックします。他のディレクトリにインストールする場合は「参照」ボタンをクリックして選択してください。設定が終了したら「次へ」ボタンをクリックします。



8. 「フルインストール」ボタンをクリックした場合は、手順 8. へ進みます。「インストール先の選択」ダイアログが表示されます。インストール先ディレクトリに表示されているディレクトリにインストールされます。このディレクトリでよければ「次へ>」ボタンをクリックします。他のディレクトリにインストールする場合は「参照」ボタンをクリックして選択してください。



9. 「デスクトップへの組み込み」ダイアログ<sup>†3</sup>が表示されます。ここではデスクトップへの組み込み方法を指定します。デフォルトは「サブメニューを作成する」です。指定したら「次へ>」ボタンをクリックします。



10. 「プログラムフォルダーの選択」ダイアログが表示されます。ここではどこのプログラムフォルダーにプログラムアイコンを追加するか指定をし、「次へ>」ボタンをクリックします。WindowsNT 3.51 の場合、プログラムフォルダーはグループに置き換えてください。

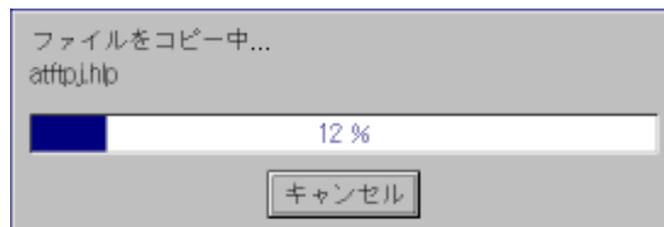


†3 このダイアログは Windows NT 3.51 へインストールする場合は表示されません。

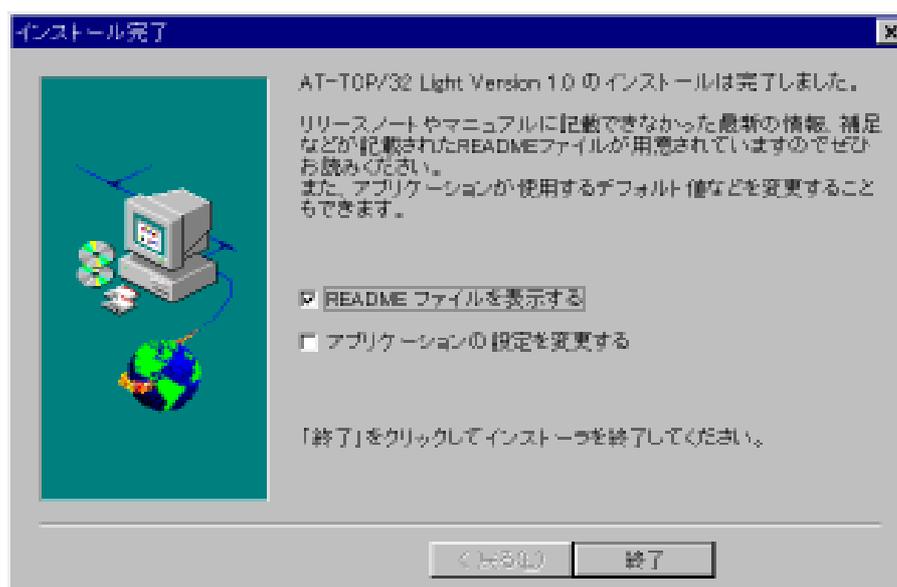
11. 「現在の設定」に表示されている内容でインストールします。内容を確認して、この通りインストールする場合は「次へ」ボタンをクリックします。内容が間違っている場合は、「戻る」ボタンで修正したいダイアログまで戻り、設定し直します。



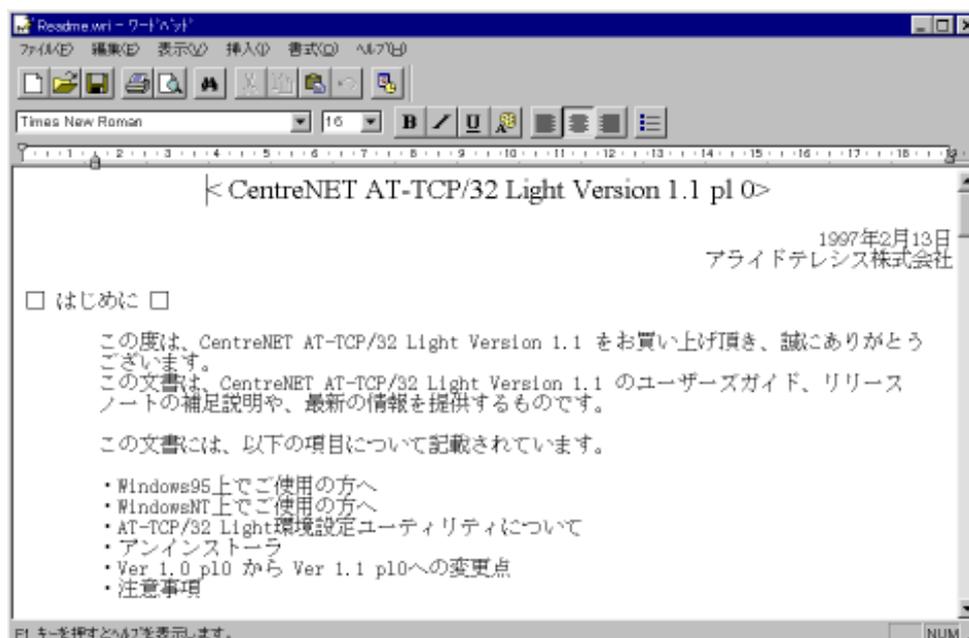
12. ファイルのコピーを始めます。



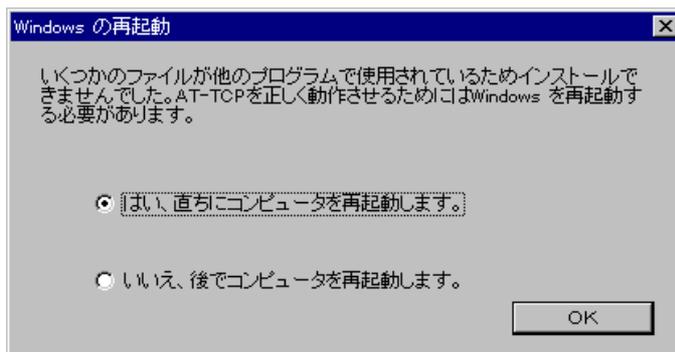
13. ファイルのコピーが終了すると「インストール完了」ダイアログが表示されます。また、このダイアログで「README ファイルを表示する」と「アプリケーションの設定を変更する」を選択することができます。デフォルトは「README ファイルを表示する」です。この項目を選択すると、インストール終了後に README ファイルを表示します。



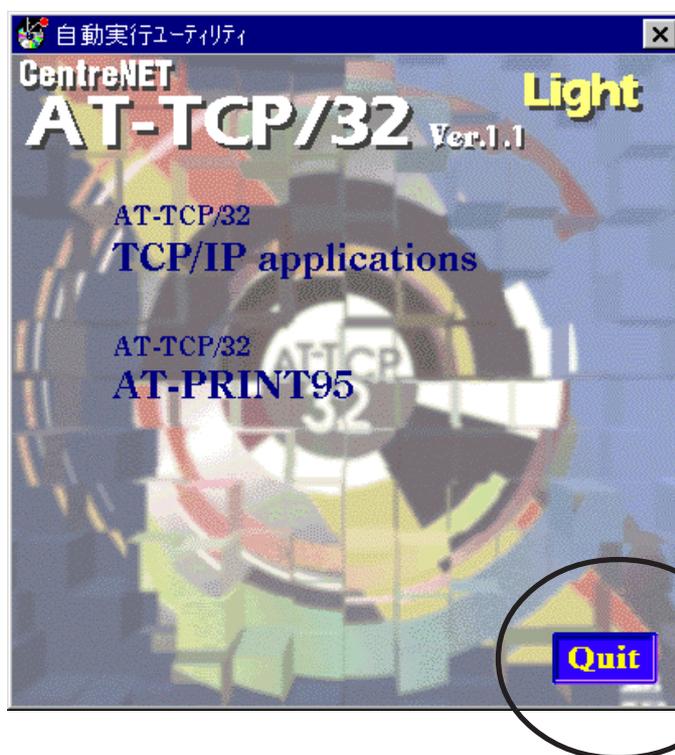
14. 以下のような CentreNET AT-TCP/32 Light についての製品情報が表示されます。製品情報を閉じる場合は、「ファイル」-「ワードパッドの終了」をクリックします。



15. インストールが終了すると、Windows 95 の画面に戻ります。  
ただし、インストール中に別のプログラムを動作している場合は、以下のメッセージが表示されます。AT-TCP/32 Light を動作させるには一度リセットが必要になります。再起動してください。



16. 「自動実行ユーティリティ」ダイアログが表示されます。「閉じる」ボタンをクリックして終了させます。



## Version Up の場合

1. 新規インストールの手順 1. ~ 4. を行います。古い AT-TCP/32 Light がインストールしてある場合は、以下のダイアログが表示されます。ここでインストール方法を選択します。古い AT-TCP/32 Light の各アプリケーションの設定をそのまま残してインストールする場合は「A:」を、古いバージョンは設定を含めて全て削除してインストールする場合は「B:」をチェックし、「次へ」ボタンをクリックします。



2. 「A」を選択した場合はインストール先の確認をするダイアログが表示されます。表示されているディレクトリやフォルダは古い AT-TCP/32 Light のインストール先です。「はい」ボタンをクリックします。違うディレクトリやフォルダにインストールしたい場合は古い AT-TCP/32 Light を予めアンインストールしてからでないと、インストールができません。

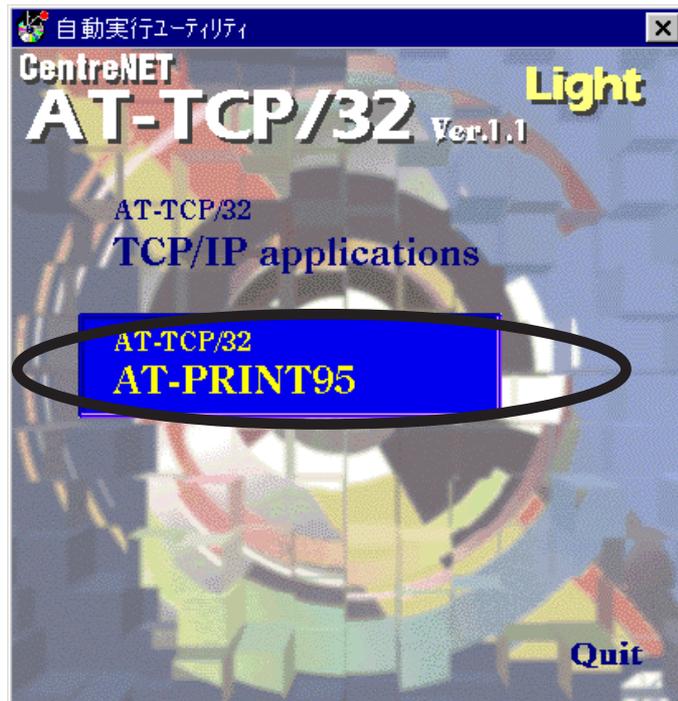


3. あとは新規インストールの手順 5.以降の手順に従ってインストールしてください。

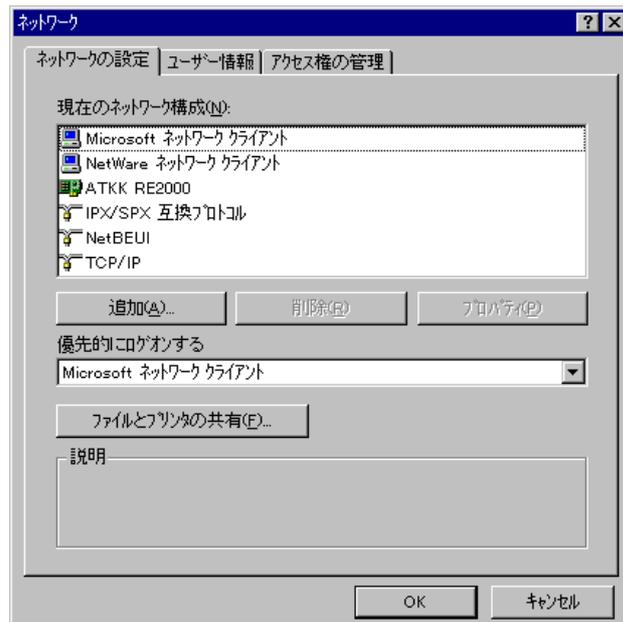
## AT-PRINT95 のインストールについて

AT-PRINT95 をパソコンにインストールし、リモートホスト (UNIXワークステーション) と通信ができるようになるまでの作業の概要は以下の通りです。

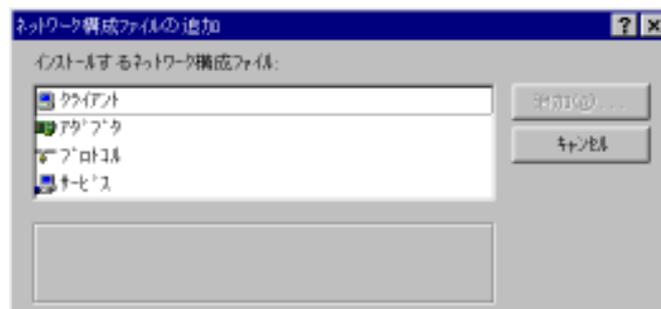
1. 「自動実行ユーティリティ」を起動させ、「AT-TCP/32 AT-PRINT95」ボタンをクリックします。



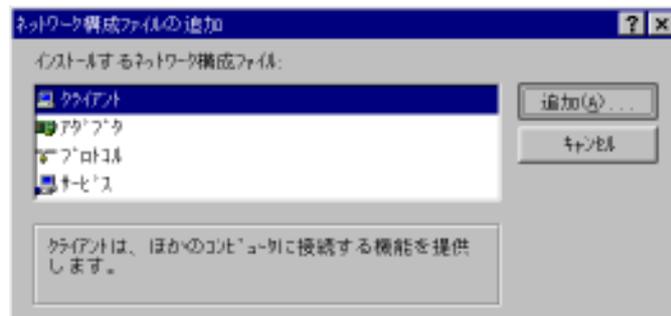
2. プリンタリダイレクト機能のインストールについての簡単な文書と「ネットワーク」ダイアログが表示されます。この冊子とあわせてお読みください。「ネットワーク」ダイアログは「マイコンピュータ」 - 「コントロールパネル」 - 「ネットワーク」でも表示させることができます。



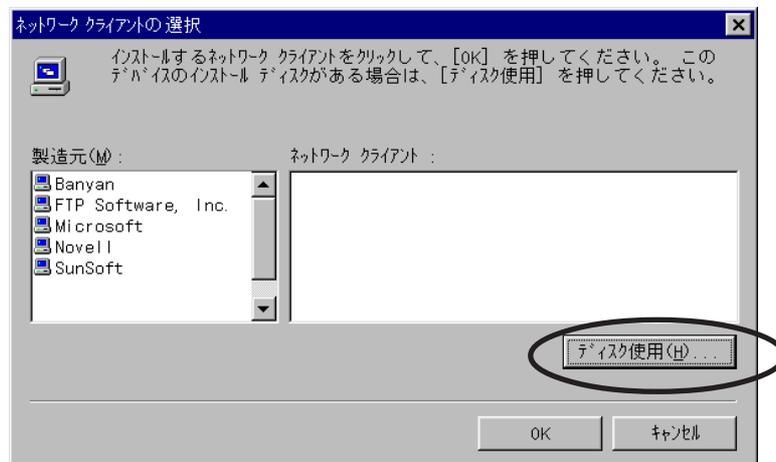
3. 「ネットワーク」ダイアログの「追加」ボタンをクリックすると、「ネットワーク構成ファイルの追加」ダイアログが表示されます。



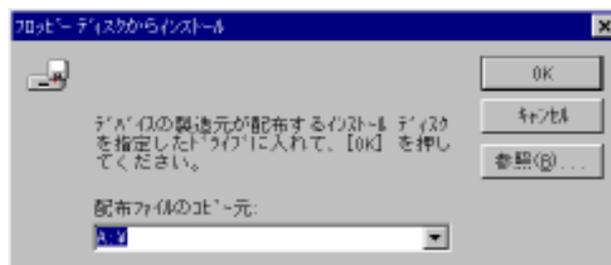
4. ダイアログ中の「インストールするネットワーク構成ファイル」一覧から「クライアント」を選択し、「追加」ボタンをクリックします。



5. 「ネットワーククライアントの選択」ダイアログが表示されます。「ディスク使用」ボタンをクリックします。



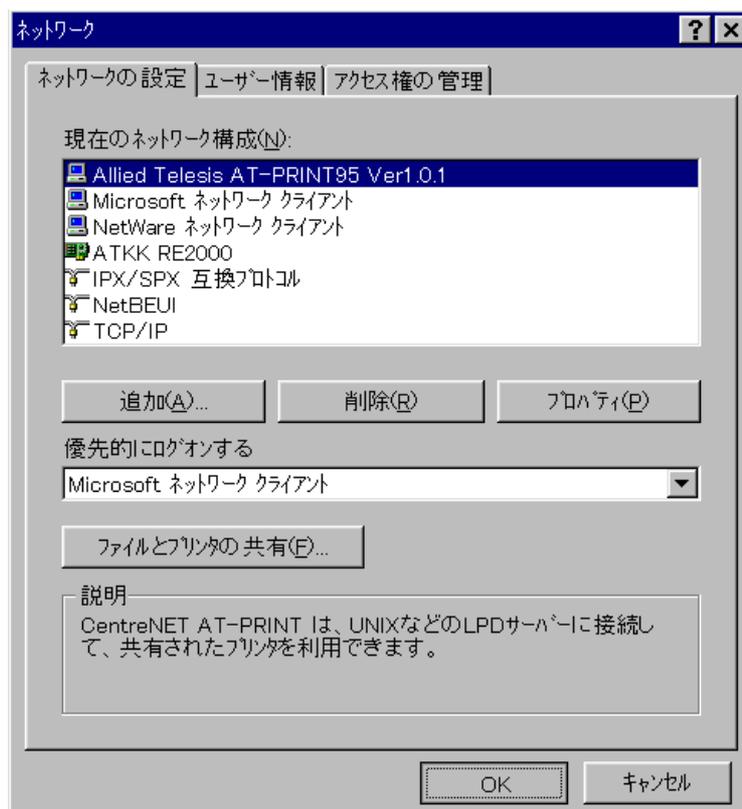
6. 「フロッピーディスクからのインストール」ダイアログが表示されます。AT/TCP/32 Light の CD-ROM をドライブに挿入し、「配布ファイルのコピー元」にそのドライブを入力します。用意ができたら「OK」ボタンをクリックします。



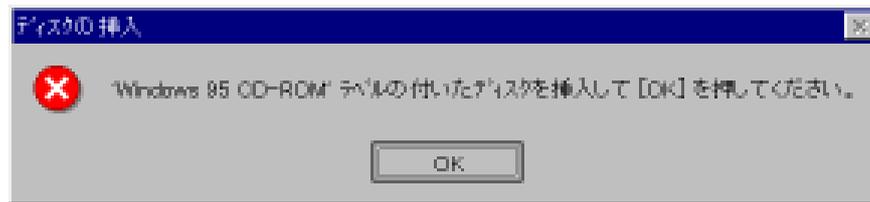
7. 「ネットワーククライアントの選択」ダイアログが表示されます。ダイアログ中の「モデル」一覧に「Allied Telesis AT-PRINT95 Ver1.0.1」と表示されます。確認後「OK」ボタンをクリックします。



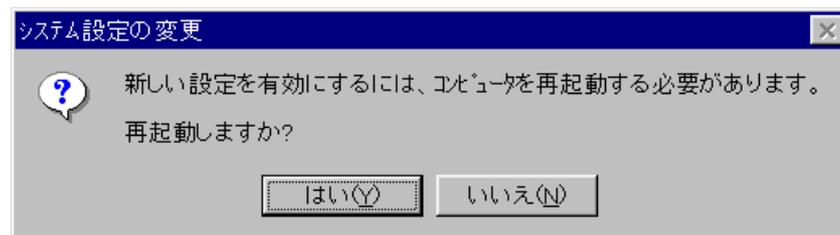
8. 「ネットワーク」ダイアログに戻ります。「現在のネットワーク構成」一覧に「Allied Telesis AT-PRINT95 Ver1.0.1」が追加されます。インストールを開始する場合は「Allied Telesis AT-PRINT95 Ver1.0.1」を選択し、「OK」ボタンをクリックします。インストールを始めます。



8. Windows95 をインストールした時の CD-ROM や FD を要求されます。



9. インストールが終了すると「新しい設定を有効にするには、コンピュータを再起動する必要があります。」というメッセージが表示されます。全てをインストールしてからリブートします。「いいえ」ボタンをクリックします。



## AT-PRINT95 を使用するための TCP/IP の設定

TCP/IP の設定には、次のネットワーク環境について決めておく必要があります。ネットワーク管理者にご相談ください。

- 1) DHCP サーバを使用するか？
- 2) WINS を解決するか？（NetBIOS を使用し、ルータ越えや他の NetBIOS ネットワークとの接続を行うか？）
- 3) DNS を使用するか？

ここでは、次のネットワーク条件を前提に設定例を示します。

- 1) DHCP サーバは、使用しない。
- 2) WINS の解決をしない。
- 3) DNS を使用する。

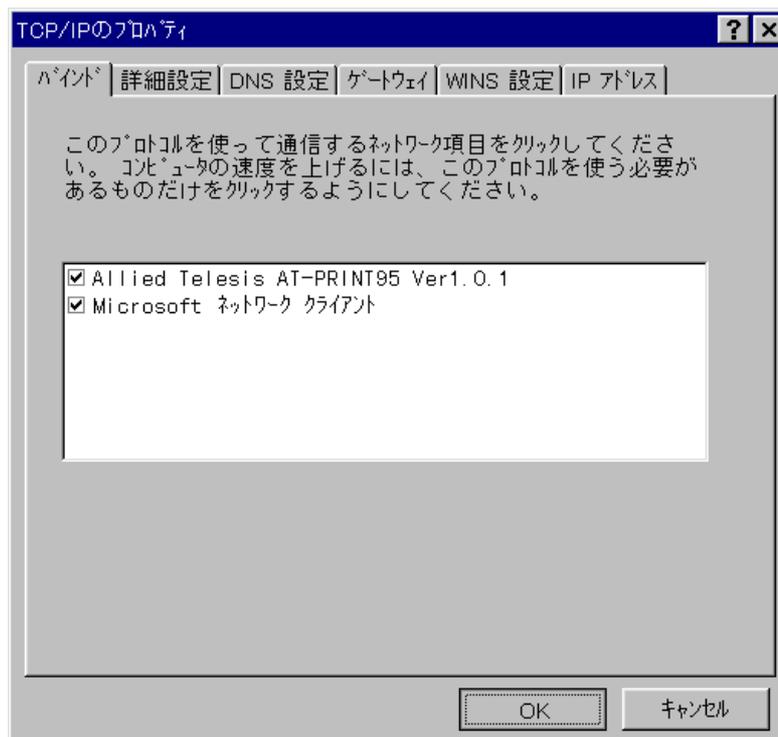
TCP/IP の設定は Windows95 の「ネットワーク」ダイアログの「ネットワークの設定」プロパティで行います。

1. 「マイコンピュータ」 - 「コントロールパネル」 - 「ネットワーク」をダブルクリックします。
2. 「ネットワークの設定」タブをクリックします。「現在のネットワーク構成」一覧から TCP/IP を選択して「プロパティ」ボタンをクリックします。



## バインド状態の確認

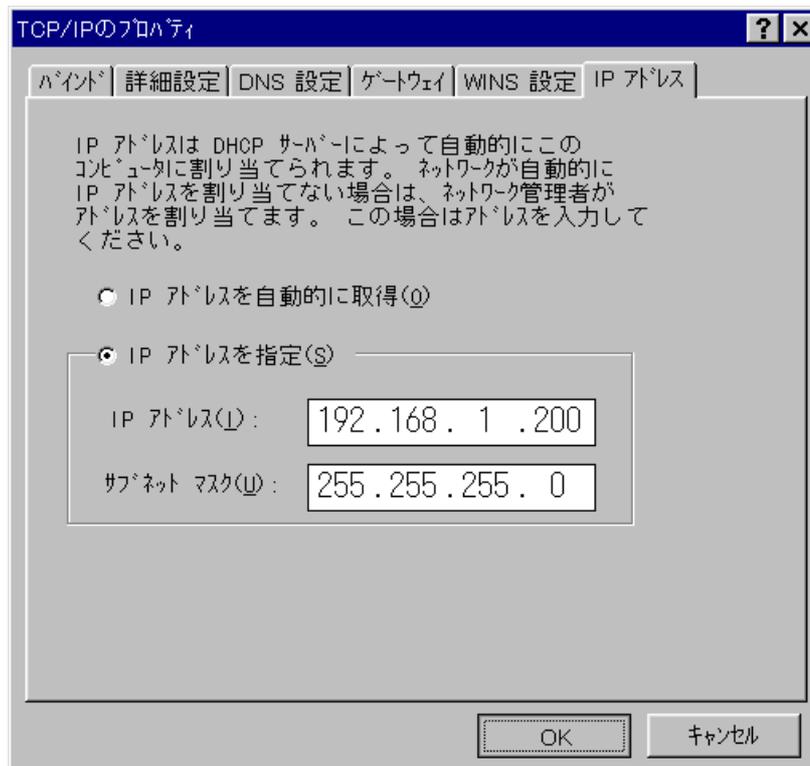
「バインド」タブをクリックします。



上記のように AT-PRINT95 が表示され、先頭のチェックボックスにチェックがしてあるか確認します。AT-PRINT95 が表示されていないか、チェックボックスにチェックがされていない場合は再起動してから、もう一度「TCP/IP の設定」から始めてください。再起動しても AT-PRINT95 が表示されなかったり、チェックボックスにチェックがされていない場合は正しくインストールされていません。その場合は再インストールをしてください。

## IP アドレスの設定

「IP アドレス」タブをクリックします。



ここでは DHCP サーバは使用しない設定にしますので、「IP アドレスを指定」をチェックし、「IP アドレス」と「サブネットマスク」フィールドに各アドレスを入力します。ここでは、例として

IP アドレス            192.168.1.200  
サブネットマスク    255.255.000

で設定します。

WINS (Windows Internet Naming Service) 設定  
「WINS 設定」タブをクリックします。



ここでは WINS の解決を使用しないという設定にしますので「WINS の解決をしない」をチェックします。

## DNS 設定

「DNS 設定」タブをクリックします。



ここでは DNS を使うという設定にしますので、「DNS を使う」をチェックし、「ホスト名」、「ドメイン名」、「DNS サーバの検索順」、「ドメインサフィックスの検索順」フィールドに各アドレスを入力します。ここでは例として以下のように入力します。ただし、ここではサブドメインの使用はしないので入力はしません。

ホスト	nakaido
ドメイン	allied-telesis
DNS サーバ	192.168.1.1

各設定値について不明な点は、ネットワーク管理者にご相談ください。

3. 以上の設定が終了したら、「OK」ボタンをクリックしてTCP/IP プロパティを終了します。
4. 「ネットワーク」ダイアログに戻ります。「OK」ボタンをクリックすると、「新しい設定を有効にするには、コンピュータを再起動する必要があります。」というメッセージが表示されますので、「はい」ボタンをクリックして再起動してください。
5. DNS を使用しない場合は後で Windows95 インストールディレクトリに hosts ファイルを作成する必要があります。
6. TCP/IP の設定をした後は、TCP/IP が正しく動作しているか、動作確認を行うことをお奨めします。動作確認の方法は「3.2 TCP/IP の動作確認」の手順にしたがってください。

## AT-PRINT95 ご使用上の注意

本製品を使用する際、以下のことにご注意ください。

1. AT-PRINT95は LPRプロトコルによるプリンタリダイレクト機能を提供しています。リモートプリンタとしてLPDサーバ、LPDサーバ対応ネットワークプリンタが使用できます。  
NFSプリンタは対応していません。
2. Windows95「MS-DOSプロンプト」でMS-DOSのプリンタリダイレクト機能を使用する場合は、リダイレクト先としてUNC名は使用できません。

使用できる例：  
`copy file LPT1`  
`dir > LPT1`

使用できない例：  
`copy file ••kiwi•lp`

## 4. アンインストール

CentreNET AT-TCP/32 Light をインストール先のハードディスクから削除する場合は、以下の手順で行ってください。

### 4.1 AT-TCP/32 のアンインストール

Windows95/WindowsNT 4.0 をお使いの場合

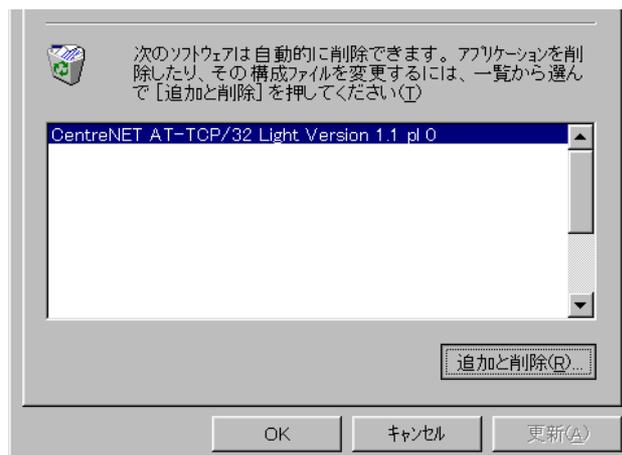
1. Windows95/WindowsNT 4.0 を起動します。
2. 「スタート」-「設定」-「コントロールパネル」をクリックします。
3. 「コントロールパネル」グループが表示されます。その中から、「アプリケーションの追加と削除」アイコンをダブルクリックします。



- 「アプリケーションの追加と削除のプロパティ」ダイアログが表示されます。



- ダイアログの下のウィンドウから「CentreNET AT-TCP/32 Light Version 1.1 pl0」をマウスで指定し、「追加と削除」ボタンをクリックします。



- AT-TCP/32 Light のファイル及び設定が Windows95 または WindowsNT 4.0 から削除されます。

WindowsNT 3.51 をお使いの場合

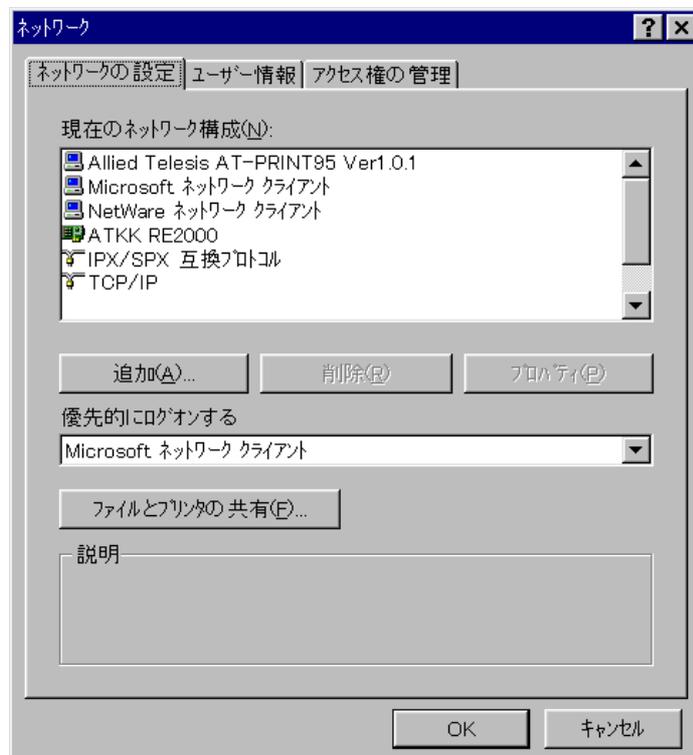
1. WindowsNT 3.51を起動します。
2. プログラムマネージャ以外の全てのアプリケーションを終了させます。
3. プログラムマネージャの「CentreNET AT-TCP32 Light」グループの中の「アンインストール」アイコンをダブルクリックします。



4. AT-TCP/32 Light のファイル及び設定が WindowsNT 3.51 上から削除されます。システムを再起動することによりアンインストール処理は終了します。

## 4.2 AT-PRINT95 のアンインストール

1. AT-PRINT95 の機能を使用している全てのウィンドウを閉じます。  
(例. ネットワークコンピュータやネットワークディスクをカレントドライブにしている MS-DOS プロンプトなど割当てている仮想ドライブを切断します。)
2. AT-PRINT95 の機能を使用して登録したネットワークプリンタを削除します。
3. 「マイコンピュータ」 - 「コントロールパネル」 - 「ネットワーク」をクリックし、「ネットワーク」ダイアログを表示させます。



- このダイアログの「現在のネットワーク構成」一覧で AT-PRINT95 を選択して「削除」をクリックしてください。



- メッセージにしたがって、必ず再起動してください。

ハングアップなどの異常が発生した場合のアンインストール方法  
(以下の操作はハングアップ等の異常時以外には行わないでください。)

1. パソコンの電源投入後、「F8」キーを押します。
2. 起動メニューが表示されるので、そのメニューの中から「セーフティモード」を選択して Windows95 を起動します。
3. Windows95 を起動した後、「マイコンピュータ」 - 「コントロールパネル」 - 「ネットワーク」をクリックし、「ネットワーク」ダイアログを表示させます。
4. ここで、「現在のネットワーク一覧」に表示されている各アイテムを全て削除し、Windows95 を再起動してください。
5. 再起動後、DOS プロンプトを起動して Windows95 がインストールしてあるディレクトリの下に SYSTEM ディレクトリにある vatnfs.386 を削除します。

```
C:¥windows¥system>del vatnfs.386
```

6. DOS プロンプトを閉じます。
7. AT-PRINT95 以外のネットワーク機能を再度設定してください。

## 5. 「PGP 国際版 2.6.3i」について

AT-TCP/32 Light TCP/IP アプリケーションの AT-Mail ではメッセージを暗号化し、メールとして送信することができます。そのためには「PGP 国際版 2.6.3i」というソフトウェアが必要になります。PGP のホームページからダウンロードしてください。「PGP のダウンロードについて」をお読みください。

### PGP のバージョン

現在(1997.1)の時点で、以下のバージョンのアーカイブが ATMail との組み合わせで動作することが確認されています。

pgp263i.zip	299KB (DOS/V 用。PC98 では動作しません。)
pgp263ix.zip	379KB (DOS/V 用。PC98 では動作しません。)
pgp263i-win32.zip	322KB (PC98 シリーズはこのバージョン以外は動作しません。)

ATMail で使用する場合は pgp263i-win32.zipをお勧めします。

### PGP の注意事項

「PGP 国際版 2.6.3i」のダウンロード、使用、その他の一切については、個人もしくは各会社、各団体の判断と責任において行ってください。

「PGP 国際版 2.6.3i」の商品利用、輸出／輸入、国外への持ち出し／国外からの持ち込み、その他に関して制限事項等がもうけられておりますので、十分ご調査ご確認の上、自己の判断と責任においてご利用ください。

( PGP 国際版のホームページ (日本語版) <<http://ac3.aimcom.co.jp/macpgp/>> の「PGP 国際版に関する FAQ」などをご参照ください。 )

弊社はこれら「PGP 国際版 2.6.3i」の取り扱いの全てについて一切の責任を追いかねますのであらかじめご了承ください。

## 「PGP 国際版 2.6.3i」のダウンロードについて

弊社ホームページに「PGP 国際版 2.6.3i」の入手に関する情報が掲載されていますので、下記の URL をご利用ください。

[http://www.allied-telesis.co.jp/products/  
pgp.html](http://www.allied-telesis.co.jp/products/pgp.html)

「PGP 国際版 2.6.3i」のダウンロードの詳細については、PGP ホームページをご覧ください。

## 「PGP 国際版 2.6.3i」のインストール

ダウンロードしてきた「PGP 国際版 2.6.3i」は ZIP 形式で圧縮されています。解凍するには WinZip というシェアウェアの PC 用の解凍ユーティリティを購入する必要があります。

ハードディスク上の適切なディレクトリの中で解凍することでインストールは終了です。（弊社は WinZip の取り扱いの全てについて一切の責任を追いかねますので予めご了承ください。また、WinZip の使用、「PGP 国際版 2.6.3i」の解凍に関するご質問は受けかねますので、お客様の責任にて行っていただけますようお願い申し上げます。）ただし、解凍時にディレクトリを指定しないとルート上で展開されますので、PGP 専用のディレクトリを作成して解凍することをお勧めします。

例 C:\\*PGP

## PGP とは

PGP は Philip Zimmerman 氏によって開発された公開鍵方式の暗号化プログラムです。PGP を使用することによって、電子メールやコンピュータ上に格納されたファイルを暗号化し、それらのプライバシーを保護することができます。日本では国際版 PGP（「PGP 国際版2.6.3i」）のみご利用できません。

## 暗号化と復合化

誰かがその情報を抜き取って読もうとしても解読できないように、元の情報（平文といいます。）を見た目には無秩序な形に置き換えることを「暗号化」といい、置き換えられた文章を「暗号文」といいます。

暗号文は鍵を使用することにより、ある特定の人にしか解読できません。解読することを「復号化」といいます。

暗号化の目的には以下のことがあげられます。

### 機密保持

非常に独占的なビジネス情報の保護に関しては機密性が重要な要素となります。暗号化された情報に不正にアクセスしたりしても、解読することはきわめて困難になります。

### 情報の正確性や保全性を維持

内容の正確さを重要視される情報を改ざんされるのを防ぎます。

### 信憑性

電子署名 / 認証は送信されてきた情報が本物であることを確認する手段でもあります。

## 公開鍵方式

PGP は公開鍵方式といって、公開鍵と秘密鍵の 2 種類の鍵を使用する方法を採用しています。暗号化と復号化のためには、この 2 種類の鍵が必要になります。

この鍵は一組になっており、1 つは所属しているグループ（例えばネットワークのような）に公開され、1 つは各ユーザが他人に知られないように各自で保護しなければなりません。

公開される鍵を公開鍵、他人に知られないように保護しなければならないのが秘密鍵または、プライベート鍵といいます。

### 公開鍵

メッセージを暗号化するとき 사용합니다。暗号化するときには、メッセージを送信する相手の公開鍵を使用します。また、ユーザ認証する際にも使用されます。また、電子署名をするときにも使用されます。

### 秘密鍵

メッセージを復号化するとき 사용합니다。復号化するときには自分の秘密鍵を使用します。

秘密鍵を使うためには「パスフレーズ」が必要になります。パスフレーズは秘密鍵を保護するためのパスワードのようなものです。

### 電子署名

そのメッセージが本人からのものであることを証明するデータのこと、暗号化する平文をある関数を使用して、ほぼ一意になる特定の値に変換し、さらに秘密鍵で暗号化します。この電子署名は、暗号文を復号化したときに、元の暗号化されたメッセージと、電子署名の特定の値に変換したデータを比較し、改ざんされているかどうか検証します。

## 公開鍵と秘密鍵の作成

ATMail で暗号化の機能を使用するには公開鍵と秘密鍵が作成が必要になります。鍵の作成は ATMail 上で作成することができますので、MS-DOS 上で PGP のコマンドを使用して作成する必要はありません。公開鍵と秘密鍵の作成については AT-TCP/32 Light Ver1.1 の 電子マニュアルをお読みください。

## 6. ユーザーサポート

CentreNET AT-TCP/32 Light の障害回避などの技術的なサポートを受ける場合は、「調査依頼書」をコピーしたものに必要事項を記入し、下記にファクス (24 時間受け付け可) してください。記入事項の詳細は、「調査依頼書のご記入にあたって」を参照してください。

Tel: ☎ 0120-860-772

Fax: ☎ 0120-860-662

サポートセンター受付時間

10:00 ~ 12:00、13:00 ~ 17:00  
月 ~ 金曜日まで (祝・祭日を除く)

## 調査依頼書のご記入にあたって

本依頼書は、お客様の環境で発生した様々な障害の原因を突き止めるためにご記入頂くものです。ご提供頂く情報が不十分な場合には、障害の原因を突き止めることに時間がかかり、最悪の場合には障害の解消ができない場合も有ります。迅速に障害の解消を行うためにも、弊社の担当者が障害の発生した環境を理解できるよう、以下の点にそってご記入頂きFAXまたは郵送にてお送り頂きたく、お願い申し上げます。記入用紙で書き切れない場合には、プリントアウトなどを別途添付ください。尚、都合によりご連絡の遅れる事もございますので予めご了承ください。

## 使用しているハードとソフトについて

1. AT-TCP/32 Light のバージョン、パッチレベル、シリアル番号 (1234-5678-9012 のような番号です)、対応パソコン機種について記入してください。
2. 弊社イーサネットアダプタ (ボード) をご使用の場合、アダプタ名、シリアル番号、製品リビジョン、ボードリビジョンを記入してください。それらは、アダプタ上に記入されています。

<例>



ドライバディスクのバージョンは、ドライバディスクのディスクラベルに記入されています。他社製の製品をご使用の場合、メーカー名、アダプタ名を記入してください。

3. ご使用になっている UNIX ワークステーションのメーカー名、OS 名、OS バージョンを記入してください。
4. ご使用になっているパソコン機種、OS 名などの情報を記入してください。
  - \* 他社製の拡張アダプタ (例えば、拡張メモリーボードなど) とイーサネットアダプタを併用している場合、全ての拡張アダプタのメーカー名、機種名を記入してください。
  - \* ユーティリティと AT-TCP/32 Light を併用している場合、全てのユーティリティのメーカー名、製品名をご記入ください。ユーティリティは、例えばサードベンダー製のメモリーマネージャ、パソコン起動時のマルチコンフィグ・ユーティリティなどです。
  - \* アプリケーションと AT-TCP/32 Light と併用している場合、そのアプリケーションのメーカー名、製品名を記入してください。

## お問い合わせ内容について

- \* どのような症状が発生するのか、それはどのような状況で発生するのかを出来る限り具体的に（再現できるように）記入してください。
- \* 障害などが発生する場合には、併用しているユーティリティ、アプリケーションの処理内容も記入してください。
- \* エラーメッセージやエラーコードが表示される場合には、表示されるメッセージの内容のプリントアウトなどを必ず添付してください。

## ネットワーク構成について

ネットワークとの接続状況や、使用されているネットワーク機器がわかる簡単な図を添付してください。

# 調査依頼書 (CentreNET AT-TCP/32 Light Ver.1.1) (1/2)

## 一般事項

199 年 月 日

1. 御社名 : _____	
部署名 : _____	ご担当者 : _____
ご連絡先住所 : 〒 _____	
Tel. : _____	Fax. : _____
2. 本製品のご購入販売店 : _____ 販売店担当者 : _____	
Tel. : _____	ご購入日 : _____ 年 月 日

## ハードウェアとソフトウェア

1. AT-TCP/32 Light のバージョンと環境 AT-TCP/32 Light Ver. _____ pl _____ シリアル番号 _____					
2. 環境 ダイヤルアップ LAN					
3. ご使用のイーサネットアダプタの種類、シリアル番号、製品リビジョン、ボードリビジョン : 弊社アダプタ名 <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td style="text-align: center;"></td><td style="text-align: center;">S/N _____ Rev _____</td></tr></table> <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td style="text-align: center;">REV</td><td style="width: 20px;"></td></tr></table> ドライバーディスク Ver. _____ PL _____ 他社メーカー名 / アダプタ名 : _____			S/N _____ Rev _____	REV	
	S/N _____ Rev _____				
REV					
4. サーバー のメーカー名、OS 名、Ver. : _____ _____ _____					
5. PC メーカー名 / 機種 : _____ _____ PC の OS (メーカー名)、Ver. : _____ _____ 拡張アダプタ名 / 機種 : _____ _____ アプリケーション : _____ _____ ユーティリティ : _____ _____					

調査依頼書 (CentreNET AT-TCP/32 Light Ver.1.1) (2/2)

ネットワーク設定

199 年 月 日

(コントロールパネルの「ネットワーク」を参照の上、下記の項目をうめてください。)

DHCP	<input type="checkbox"/> 使う	<input type="checkbox"/> 使わない
IP アドレス		
サブネットマスク		
ゲートウェイ		
DNS	<input type="checkbox"/> 使う	<input type="checkbox"/> 使わない
ホスト		
ドメイン		
DNS サーバーの検索順		
ドメインサフィックスの検索順		

お問い合わせ内容 ( 別紙なし 別紙あり)

## ご注意

- (1) 本マニュアルは、アライドテレシス(株)が作成したもので、全ての権利をアライドテレシス(株)が保有しています。アライドテレシス(株)に無断で本書の一部または全部をコピーすることを禁じます。
- (2) アライドテレシス(株)は、予告なく本マニュアルの一部または全体を修正、変更することがありますのでご了承ください。
- (3) アライドテレシス(株)は、改良のため製品の仕様を予告なく変更、改良することがありますのでご了承ください。
- (4) 本製品の内容またはその仕様に関して発生した結果については、いかなる責任も負いかねますのでご了承ください。

©1996-1997 アライドテレシス株式会社

## 商標について

CentreCOM、CentreNET はアライドテレシス株式会社の商標です。

イーサネット(ethernet) は Xerox 社の商標です。

UNIX は X/Open カンパニーリミテッドがライセンスしている米国ならびに他の国における登録商標です。

Microsoft は米国 Microsoft Corporation の登録商標です。

MS-DOS は米国 Microsoft Corporation の登録商標です。

Windows は米国 Microsoft Corporation の登録商標です。

Windows95 は米国 Microsoft Corporation の登録商標です。

WindowsNT は米国 Microsoft Corporation の登録商標です。

PC-9800は日本電気株式会社の商標です。

この文書に掲載されているソフトウェアおよび周辺機器の名称は各メーカーの商標または登録商標です。